

Fatimaで天使が与えた祈り



フランチェスコ、ルチア、ヤシント

1917年5月13日のファティマでの聖母ご出現の前年1916年春に、ポルトガルを守り、平和の使いでもある一位の天使が子供たちに現れました。そして聖母のご出現の準備をするかのように子供たちに次の祈りを教えたのです。

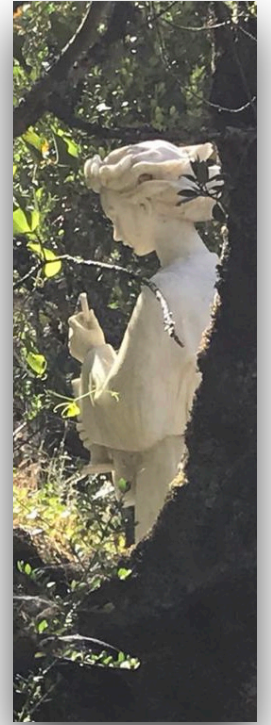
私の神よ、あなたを信じ、礼拝し、あなたに希望し、あなたを愛します。あなたを信じず、礼拝せず、あなたに希望せず、あなたを愛さない人々をお赦してください。(3回)

同年の秋、天使は左手にカリス（聖杯）を持って現れました。カリスの上にはホスティアが浮かんでおり、ホスティアから血がしたり、カリスの中に落ちていきました。

「君たちは何をしていますのですか？ 祈りなさい。たくさん祈りなさい！ イエスとマリアの聖なるみこころは、あなた方に対して慈しみのご計画をお持ちです。至聖なる御者に絶え間ない祈りと犠牲を捧げなさい。」

「君たちにできることを全て犠牲として、神を傷つけたすべての罪の償いとして、罪びとの回心のための執り成しとして、神に捧げなさい。このようにするなら、君たちの祖国に平和がもたらされます。私は君たちの祖国ポルトガルの守護の天使です。何よりも、主が君たちに送られる苦しみを受け入れなさい。」

天使はカリスを空中に浮かべたまま地面に跪き、顔が地面につくほど頭を深く下げて次の祈りを三回祈りました。そして、子供たちにも唱えるように促しました。



至聖なる三位一体の神、父と子と聖霊よ。

私は心からの畏敬の念を持ち、あなたを礼拝します。

主が受けられている侮辱、誹謗中傷、冒瀆、無関心の罪を償うために、地上のすべてのご聖櫃のうちに現存される

イエス・キリストの尊い御体と御血、ご靈魂と神聖をみ前に捧げます。主の聖なる御心とマリアの汚れない御心の無限の御功德によって、主よ、哀れな罪びとの回心の恵みを願います。アーメン (3回)

※この祈りは、ドイツ語訳からの邦訳です。私 (W. Gessmann) の私訳ですので、各自の判断でお祈りください。SUZUME-SUZUME